



中央農業高校 校長室だより 特集号

－命はぐくむ学びの風景－

神奈川県立中央農業高等学校 校長 岩崎秀太

「仲間とともに輝いた一日」（体育祭）

5月29日（金）、中央農業高校グラウンドにおいて体育祭を開催しました。

当日は曇り空で比較的過ごしやすい天候となりましたが、昼休みには小雨が降る場面もありました。そのような中でも、生徒たちは最後まで全力で競技に取り組み、グラウンドには大きな歓声と笑顔があふれていました。

今年の体育祭では、「みんなでジャンプ（大縄跳び）」をはじめ、玉入れ、二人三脚、台風の目、クラス対抗リレー、綱引き、借人競争、ローハイド、綱・タイヤ取りなど、多彩な競技が行われました。どの競技にも、仲間と協力しながら挑戦する姿が見られ、中央農業高校らしい温かな雰囲気にも包まれていました。

特に綱タイヤ取りでは、和太鼓部による迫力ある太鼓演奏とほら貝の響きが競技を大いに盛り上げました。また、部活動対抗リレーでは、酪農部が牛を連れて登場するなど、農業高校ならではの工夫あふれる演出に、会場は大きな笑い拍手に包まれました。



応援合戦では、各団が工夫を凝らした演技を披露し、仲間とともに創り上げた達成感が伝わる素晴らしい発表となりました。競技だけでなく、準備や応援、係活動など、一人ひとりが役割を果たしながら体育祭を支えていた姿がとても印象的でした。

また、当日は多くの保護者の皆様にもご来校いただき、PTAの皆様にはボランティアとして生徒たちを支えていただきました。生徒たちが安心して競技に取り組めたのも、こうした温かなご支援のおかげです。心より感謝申し上げます。

体育祭は、勝敗だけではなく、仲間と力を合わせ、一つの目標に向かって努力することの大切さを学ぶ行事です。この経験を通して深まった絆や達成感を、今後の学校生活につなげてほしいと思います。



優勝した団に
贈られた

副賞

【校友会（同総会）より】

「命はぐくむ」の理念のもと、生徒一人ひとりの成長を支えてまいります。
神奈川県立中央農業高等学校